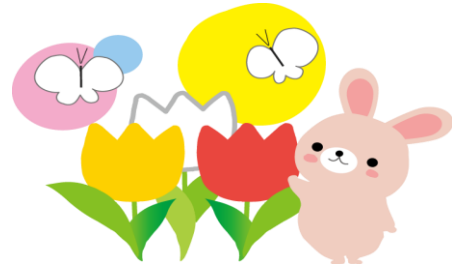


山本先生からのアドバイス 4月編



姿勢と歯並びについて

子供の歯並びは通常歯と歯の間が空いているのが普通ですが、最近は大人数様に詰まっている傾向がみられます。このままでは将来歯並びが悪くなる可能性があります。

原因の一つとして、赤ちゃんの時期に十分顎を使っていなかったことがあげられます。

母乳を与える際に十分に吸っていない、または哺乳瓶で与えて十分に顎を使ってなかったことが原因となっている可能性があります。口先だけでおっぱいを吸っても口の周りの筋肉は発達しません。しっかりとおっぱいを吸わせて口の周りの筋肉を使うことで顎も発達しますので、自然と歯がすきっぱとして並んでいきます。

十分に顎が発達しないまま成長すると、ぽかんと口を開け、口呼吸をするようになります。

生後3ヶ月を過ぎると急にアレルギーが出たりするのも口が開いていることが原因の一つと言われています。また、よだれがだらだら出るのも口を十分に閉じてないことから起こります。

それ以外に、寝かせ方にも注意が必要で、枕の高さによっては気道が狭くなり、口呼吸で寝る習慣がついてしまいます。枕はできれば柔らかいタオルなどで高さの調整ができるようなものを使用しましょう。

一部ですが、これらのことを赤ちゃんの時期から気を付けておくことで歯並びの予防ができることを覚えていてください。

HEALTHWAY JAPANESE DENTAL CENTRE

歯科医師 山本能康 TEL 6733 9785

メールアドレス : hjmc@healthwaymedical.com

176 Orchard Road #06-05 The Centrepoint

